

行く先は、まちにある。

それぞれのやってみたいを持ち寄り、
まちの毎日にワクワクを生む。
多様な人々につながり、
まちと日常の新しいこれからをつくる。

ひろさきは、江戸時代に城下町が誕生し、
津軽地域の政治・経済・文化の中心として栄えてきました。
以降、軍都として、また学都として、時代とともに、
何度もアップデートされてきたまちです。

現在では、商業、医療福祉、教育文化などの
多様なまちの機能とコミュニティが集まっています。

暮らす人、働く人、学ぶ人、訪れる人、挑戦する人が集うまち。

眠っているまちの資源と人々の想いを掛け合わせたら、
まちはもっと楽しくなる。

さあ、好奇心と、まちへ出よう。

ベースパート

あらまし

目的 今と未来のあいだをつくる

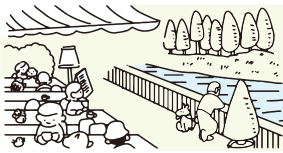
ひろさきは、まちなかに様々な機能やコミュニティが集まっている、コンパクトなまちです。民間と行政が同じ想いで「居心地が良く歩きたくなる」ウォークラブルなまちづくりを進めることで、コンパクトなまちの心臓であるまちなかを、生活するみんなが新しい日常を楽しめる舞台にアップグレードします。

対象エリア このさき、のイメージ

まちなかには、まだ気づいていない価値がたくさんあるはず。弘前れんが倉庫美術館や土淵川などの“官”の資源や、鍛冶町や弘南鉄道などの“民”の資源を活用して、自由な発想と使い方さまざまな楽しさが生まれる場所をまちに増やしていきます。

にぎわい店舗群

まちにひらけたお店が並ぶ



蓬莱広場

商店街の中心
オープンスペース



土淵川遊歩道テラス

エリアとエリアをつなぐ
歩きやすい道



土手町通り

歩行空間が広い道路



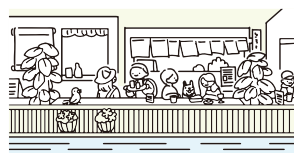
鍛冶町通り

一人でも歩ける
車と人の共存



土淵川リバーフロント

吉野町緑地からも
見える水辺空間



吉野町緑地

空がひらける
緑のエアスポット



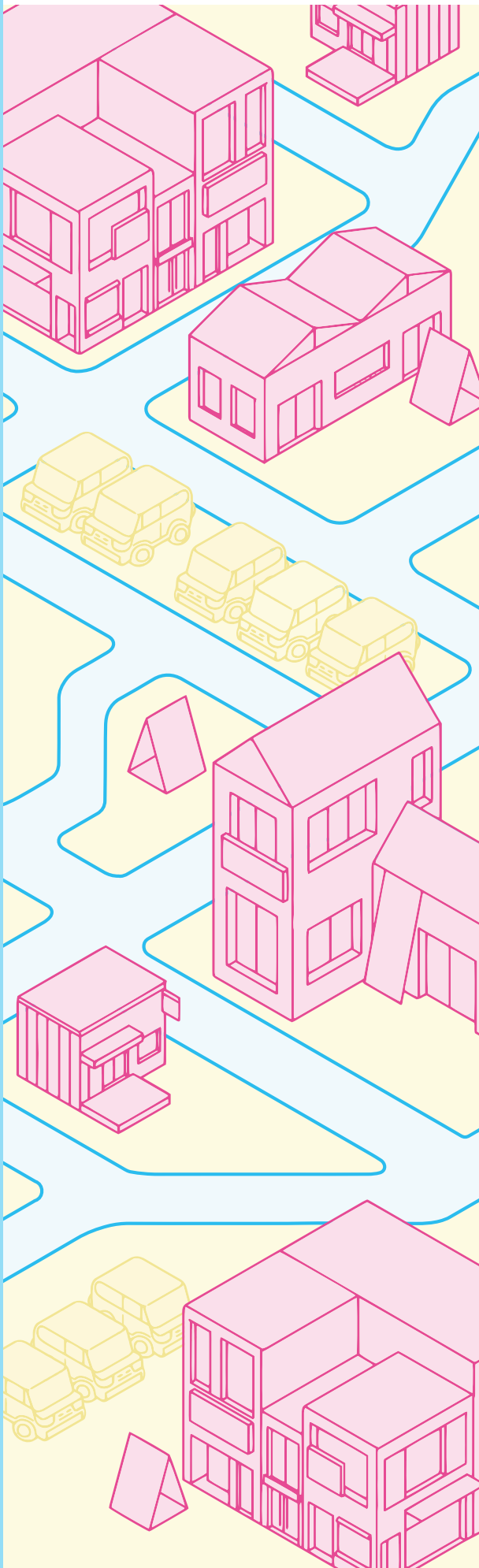
うら道

知る人ぞ知る
便利な小道



取組み内容

このさき、をつくる



ひろさきの点と線と面

「地域のさまざまな魅力=点」と「歩行空間=線」をつなげ、それぞれの場所で生み出された活動が集まって「エリア=面」をつくっていきます。

点

Placemaking

居心地が良い空間づくり

まちを使った実証実験を通じて、
公共空間やオープンスペースを活用する取組みの実施

ビジョンへの反映を前提にまずは小さな規模で公共的空間やオープンスペースを活用した企画を実行してみます。そこで得られた課題や成果を次の取組みにつなげていきます。

線

Area Renovation

うら道・小道の魅力向上

いまある資源をフルに活用し、
活気あるエリアのつながりを創出する取組みを実施

個性豊かな沿道個店の新規獲得と、夜でも歩行者が安全で安心な歩行空間をつくることで、コンテンツをつなぎ、ヒトをみちびく「導線」としての楽しさを創出します。

面

Area Vision

未来のエリアビジョンづくり

ワークショップやシンポジウムを通じて、具体的な将来像をつくる

エリア再生やウィズ / アフターコロナにおけるまちづくり手法を関係者全員で共有しながら具体的な将来像をつくります。

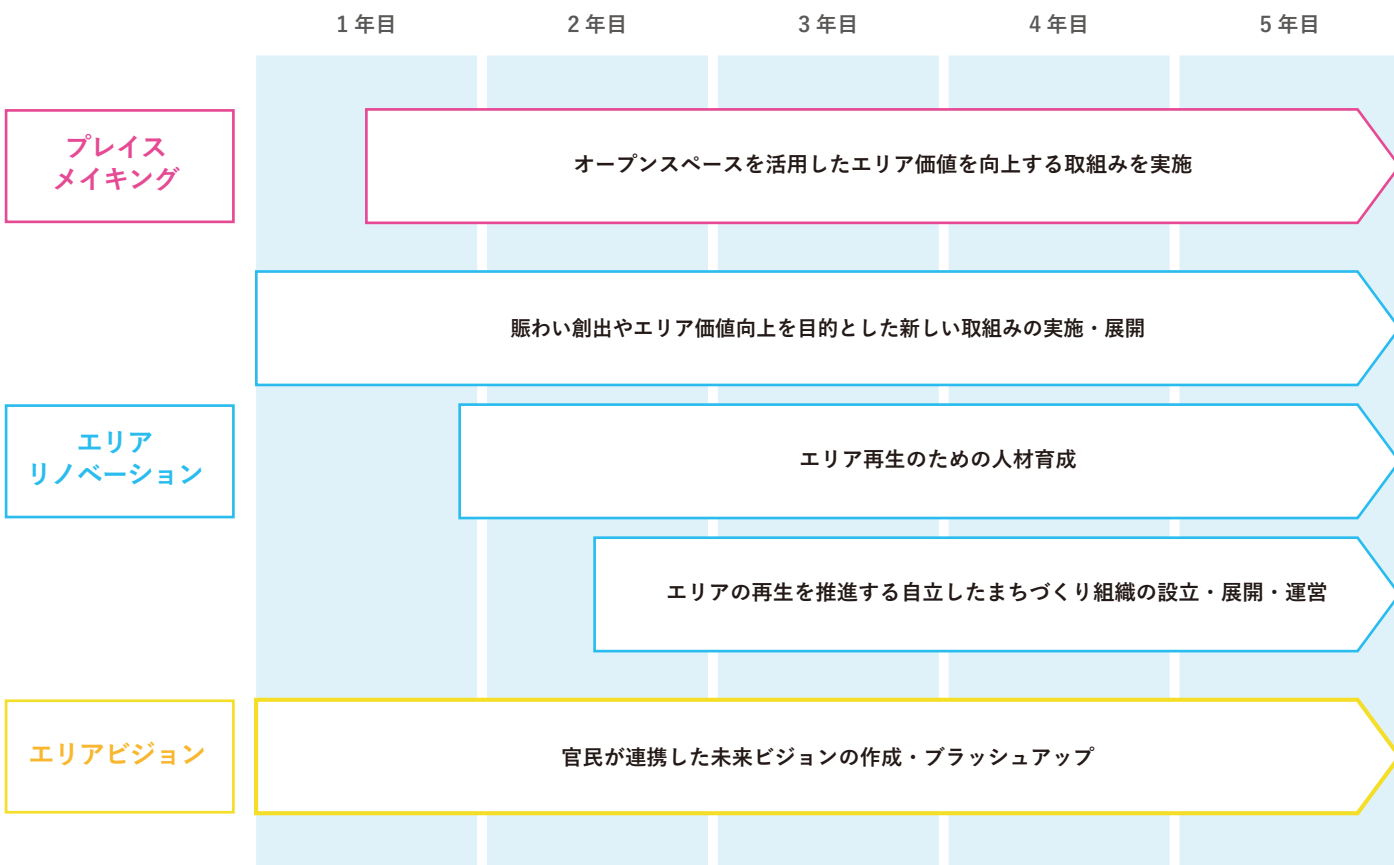
プロジェクトのプレイヤー

まちに関わる人すべてが主人公。

これまでの垣根を越えて、まちの未来を民間も行政も一緒になってつくっていきます。



ロードマップ



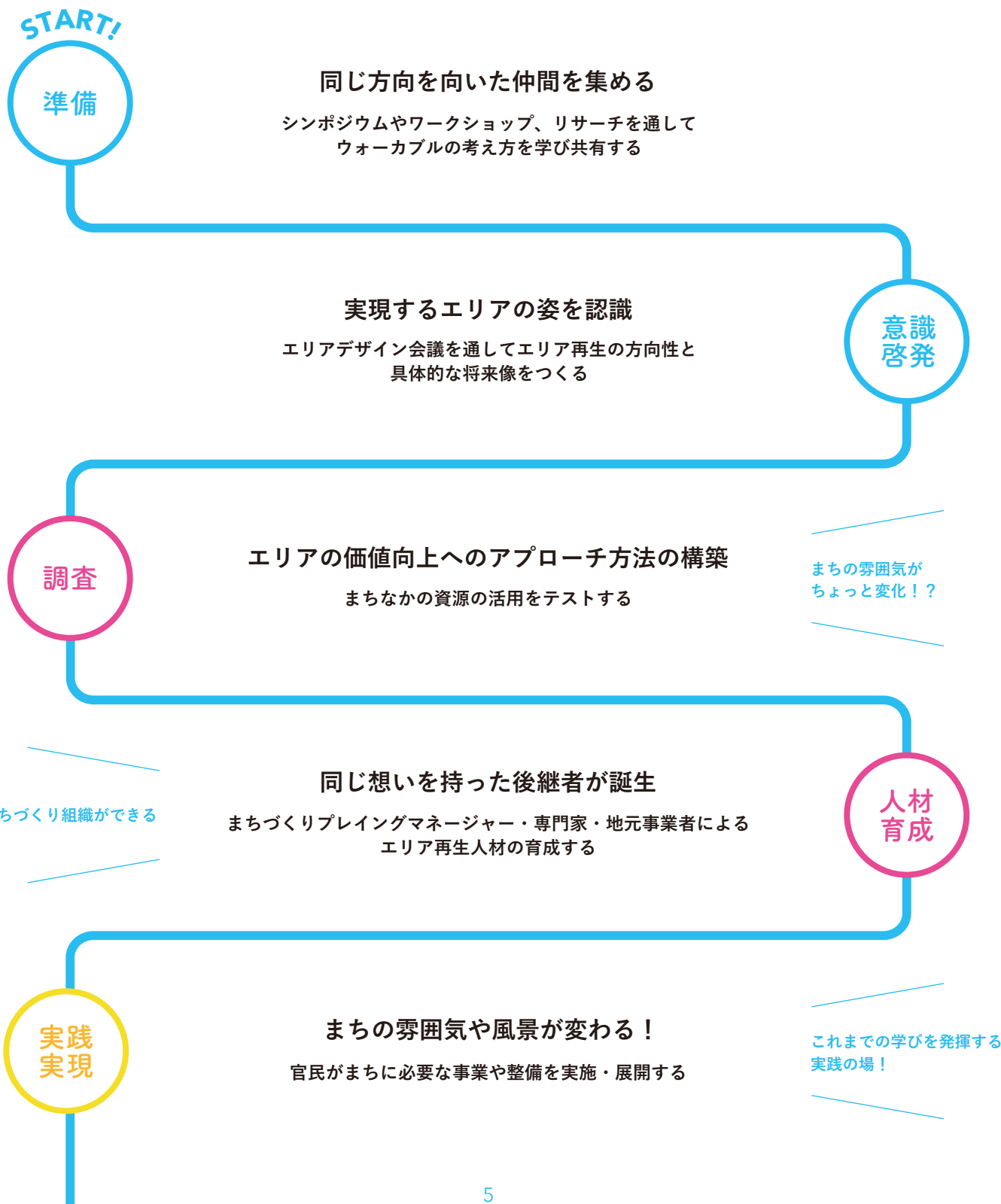
アクションプラン

このさき、をつくるステップ

これまでのまちづくりでは、設定されたビジョンに基づいて、チームや団体が“まちづくりのため”の役割を担いながらゴールに向かっていくことが一般的でした。

今回の取組みは「自分がやりたいこと中心モデル」。

主役であるプレイヤーが、ビジョンに賛同する仲間を集め、小さな実残と失敗を繰り返しながら、大きな「やりたい」を実現していく。あなたの得意が、まちのワクワクをつくります。



アクションパート

coming soon...

2023.3

ひろさき、このさき、VISION BOOK 2050

【発行】

中土手町まちづくり推進会議
(文化交流エリア周辺地域エリアプラットフォーム)
hirosaki.nms@gmail.com